

「第3回 2016年 キーパー技術コンテスト」

全日本チャンピオン矢部正選手、 “レジン2”早ワザの秘密

“スピード”は、完全な品質があってこそ意味があるもの

去る4月12日(火)・13(水)に開かれた「第3回 2016年キーパー技術コンテスト」全日本チャンピオン決定戦。11台のAQUAに爆ツヤ作業後、時間計測がはじまり、一気にダイヤモンドキーパーケミカルの施工がはじまる。塗布と拭上げの工程が終わると、ボディの隙間に入った水滴を追い出すためにエアガンを使うが、ここで誰が最初にエアガンを使うかが最初の注目ポイントだ。

1番目は、静岡代表(株)岡重の渡辺光選手。彼が「シュー、シュッシュッ」とエアガンの音を上げ始めると、観客からいっせいに「オーツ」と、声にもならない声が上がった。そのあと、大山選手、岩佐選手などが後を追いつき、すぐに全員がエアガンを使い始める。矢部選手は「7番目だった」と後に話す。

次はレジン2の工程だ。この工程は、特にスピードだけではなく、正確な仕上がりが求められる。「上手いは速い」とは言うが、お客様にとって“スピード”は、完全な仕上がりがあって初めて意味を持つもの。完全な品質があってこそ“速さ”に意味があるのだ。

だからこそ、みんな慎重にレジン2の作業を進める。それでも2,000人から勝ち抜いてきた11人の選手たち、誰もが速い。トップでレジン2を終わらせるのは、皆が注目している大山選手か?渡辺選手か?みんなが集中して見ていると、不意に観客が集まる場所から一番遠く離れたところから「終わりましたっ」という声が聞こえた。近くいたスタッフに「えっ、誰?」と聞くと、スタッフは答えた。「東日本宇佐美の矢部選手です」。

突然トップに躍り出たノーマークの選手。レジン2工程から驚異的なスピードに

正直、矢部選手はノーマークだった。小柄で、特に目立った動きがあるわけではなく、いつも上位にいるのだが、飛び抜けてはこなかった存在だった。最終戦の、最後の最後の「終わりましたっ」ではじめて意識した選手だ。

一番早くすべての作業を終えた矢部選手のタイムは、43分03秒。昨年の技術コンテストの最終戦で一番速かったタイムが51分台だったので、8分以上上回る速いタイムだった。

速いだけで雑な作業をしているのではないかと、一瞬懸念を持った。しかし4人の審査員による厳密な品質確認でその懸念は一掃された。レジンの拭き残しが1か所、アンテナの部分にほんのわずかあっただけで、ほぼ完璧な品質だった。驚異的なスピードだけではなく、完璧ともいえる品質を作り出していた。

速かったのはレジン2の過程に入ってから。突然、エンジンにターボチャージャーがかかったように、回転が上がリスピードアップして、他の選手を引き離れた。なぜレジン2の作業があんなに速かったのか…。その秘密を、矢部選手が全国の皆さんのために公開してくれた。

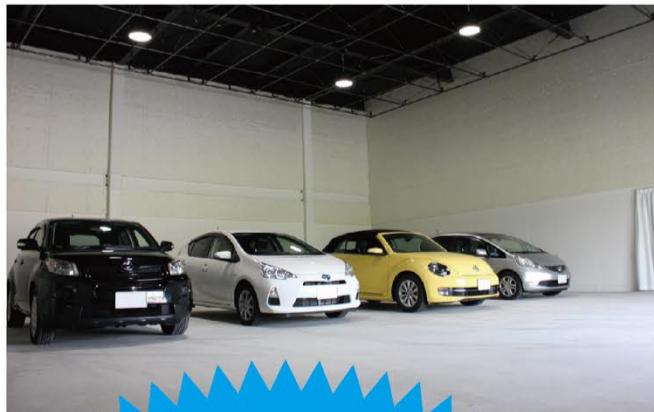


新たな活動の基軸となる「Keeperスタジオ」が完成!

商品紹介や作業マニュアル画像など
自社で撮影が可能に!!

時代は紙媒体からWEB媒体へ移行していることは、周知の事実です。またユーザーへの伝達ツールとして動画が大きく活躍しています。自社で写真撮影・動画制作が可能となる「Keeperスタジオ」が完成しました。

今後、このスタジオに自社デザイナーが常駐し、「新しい写真が欲しいなあ」と思えばすぐ撮影ができるようになります。また、商品紹介や作業マニュアルを動画で制作し、WEBサイトにアップしたり、キーパープロショップのスタッフ紹介を撮影して店舗紹介ページに役立てていただくこともできます。



国内でも珍しい「水」が使えるスタジオ!
特殊ライト設置で、
商品開発にも活かせます

洗車やコーティングの作業には「水」が付きもの。このスタジオは「水」の使用ができ、国内でも珍しい設備となっています。さらに、太陽光と同じ光を出ることができる特殊なライトも設置し、ドイツSONAXの最新の開発実験室と同等の能力も持たせる予定です。販促だけでなく、商品開発にも活かせるスタジオで、皆様のお店の活性化に貢献できればと考えています。



撮影第一弾が決定!

矢部選手
チャンピオンビデオ
こうご期待!!

Keeperスタジオでの動画撮影第一弾は、「第3回 2016年キーパー技術コンテスト」チャンピオンの矢部正選手のチャンピオンビデオ!
43分台という前代未聞のスピードとほぼ完璧な仕上がりの秘密が明らかに!
完成は6月上旬予定です。ご期待ください!!